

国際病理アカデミー 日本支部

A NEWS BULLETIN 2006 Number 4

Published quarterly
by the Japanese Division
of the International
Academy of Pathology

OFFICERS

PRESIDENT

T. Morohoshi, M.D. (06)

Showa University

PAST PRESIDENT

R.Y. Osamura, M.D. (06)

Tokai University

PRESIDENT-ELECT

H. Hashimoto, M.D. (06)

University of Occupational and
Environmental Health

SECRETARY-TREASURER

O. Matsubara, M.D. (06)

National Defense Medical College

COUNCILLORS

H. Iwasaki, M.D. (06)

Fukuoka University

Y. Nakasato (06)

Gunma University

T. Manabe, M.D. (07)

Kyoto University

T. Sano, M.D. (07)

Tokushima University

M. Shimizu, M.D.(08)

Saitama Medical School

T. Nojima, M.D.(08)

Kanazawa Medical University

COMMITTEE CHAIR

Education, Chair

N. Nemoto, M.D. (06)

Nihon University

Education, Vice Chair

Z. Naito, M.D. (06)

Nippon Medical School

Finance

S. Nakamura M.D. (06)

Nagoya University

Nomination

R.Y. Osamura, M.D.(06)

学術奨励賞の授賞の加留部先生



2006 年度病理学教育セミナー開催される

日時: 平成 18 年 11 月 25 日(土)9:00~17:15

場所: 和歌山県立医科大学 (和歌山市紀三井寺 811-1)

世話人: 覚道 健一 (和歌山県立医科大学・病理学第2講座教授)

秋期病理学会に続いて 25 日土曜日に、会場を和歌山県立医科大学において 2006 年度病理学教育セミナーが開催された。開催に当たっては覚道教授をはじめとして同教室の皆様にご多大のご協力を得たことを感謝申し上げたい。新築された校舎・病院は大変に綺麗で、中庭や噴水もあって、使いやすいものでした。素晴らしい講堂で、午前中は白石先生のモデレータのもと、教育シンポジウムが以下の演者によって行われ、多数の参加者も熱心に聞き入り、大満足であったように見られた。白石先生、各演者の先生方、ありがとうございました。

小野さん(日医)、中村先生(和歌山県立医大)、覚道先生、生沼先生(日大)の打ち合わせ風景



教育シンポジウム 9:00~12:00

主題: 前立腺生検標本の Gleason score

モデレーター: 白石 泰三(三重大)

1. 泌尿器科医は Gleason score をどのように利用しているか 内田克典(三重大)
2. 前立腺針生検標本の鏡検・診断方法と鑑別診断 鷹橋浩幸(慈恵医大)
3. Gleason 分類の歴史的変遷と今後の課題 原田昌興(神奈川がんセンター)
4. 2005 年 consensus conference による Update Gleason score について 都築豊徳(名古屋第二赤十字病院)
5. 症例供覧、一般病理医間で再現性の低い症例を中心に 小塚祐司(三重大)
6. 総合討論

IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の授賞式

教育シンポジウムの中ほどで、授賞式が行われた。受賞者は久留米大学医学部病理学教室の加留部謙之輔先生(31 歳)で、"A "floral" variant of nodal marginal zone lymphoma" Hum Pathol 36:202-206, 2005(推薦者大島孝一先生)の論文で受賞された。岩崎 宏委員長、山邊博彦副委員長より、賞状と副賞が渡された。今年度は 1 人のみの受賞となった。



白石先生が司会を

2006 年度スライドセミナー

今年度は、和歌山県立医科大学の覚道健一教授(病理学第二)、村垣泰光教授(病理学第一)のお世話になり、海辺に最近建設された、新しい建物を利用して頂き開催されました。当日は、曇りでやや寒くシンポジウム開始とともに外気が会場に流入してしまいました。暖房を入れて頂きましたが、広い会場のために時間がかかり、寒いなかでの教育シンポジウムとなり参加者の皆様には、大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。また、開始時には、音声のメインコンピューターの調子が悪く聞き取りにくい演題もあり、失礼致しました。このようなトラブルに対し、会場内を和歌山医科大学の先生がたが運動部部員の如く走り回られ対処して下さいましたことに、感謝致します。



事前の会場設定の打ち合わせ風景

午後の IAP スライドセミナーは、のべ約 438 名の参加者となり、なかなか盛況でした。

今年で中沼安二先生と清川貴子先生のスライドセミナーが終了になりますが、両先生3年間に難うございました。

また、今回、小島勝先生の非腫瘍性リンパ節病変コースの追加分標本がありました、うまく受講者の先生がたのお手元に渡らずご迷惑おかけし致しました。

来年度の IAP 日本支部教育セミナーは、2007 年 12 月 8 日の土曜日、東京の代々木の国際オリンピック記念青少年総合センターで開催の予定です。

1時限目 13:00~15:00

*A-1 軟部腫瘍 橋本 洋(産業医科大学)

B-1 乳腺疾患の病理 秋山 太(癌研究所乳腺病理)

C-1 非腫瘍性リンパ節病変 小島 勝(群馬県立がんセンター臨床検査部) その講義風景



D-1 子宮の腺系病変:診断の pitfall 清川貴子(慈恵医大病理学)

2時限目 15:15~17:15

*A-2 皮膚付属器腫瘍 清水道生(埼玉医科大学)

B-2 腎・尿路病変の病理 金城 満(新日鐵八幡記念病院病理部)

C-2 上部消化管の腫瘍性病変 二村 聡(福岡大学医学部病理学)

D-2 肝臓の小結節性病変の病理 中沼安二(金沢大形態機能病理学)

*印は新規のものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

日台スライドカンファレンス開催される

2006 年 11 月 18 日に台北の台湾大学病院 Room 501 で行われた。日本からの参加者は 19 名(2 名は随伴者)であった。合同スライドカンファレンスの内容は、homepage に掲載し、台湾支部の homepage でも見ることができます。speaker の発表内容も台湾支部の homepage に掲載の予定です。大変な暖かいもてなしを受けました。

08:30 - 08:50 Opening Ceremony

- 1) Opening Address (1) Donald Ming-Tak Ho, M.D., President, Taiwan Division, IAP
- 2) Opening Address (2) Tseng-tong Kuo, M.D. Former President, Taiwan Division, IAP
- 3) Opening Address (3) Toshio Morohoshi, M.D., President, Japanese Division, IAP
- 4) Introduction of Japanese Participants Osamu Matsubara, M.D., Secretary and Treasurer, Japanese Division, IAP
- 5) Introduction of Taiwan Participants Chih-Yi Hsu, M.D. Secretary, Taiwan Division, IAP



08:50 - 10:05 Slide Conference (1) Case 1 - Case 5
 10:05 - 10:35 Coffee Break
 10:35 - 11:50 Slide Conference (2) Case 6 - Case 10
 台湾支部の首脳と我々参加者



Slide Conference Program

08:50 - 10:05 Slide Conference (1)

08:50 - 09:05 Case 1
 (J01)
 Moderator: Hiroshi Hashimoto, M.D., Univ. of Occupational and Environmental Health
 Discussant: 游惠容 Hui-Jung Yu, M.D., Taipei Veterans General Hospital
 Presenter: Masanori Hisaoka, M.D., Univ. of Occupational and Environmental Health

09:05 - 09:20 Case 2
 (T01)
 Moderator: 何明德 Donald Ming-Tak Ho, M.D., Taipei Veterans General Hospital
 Discussant: Takeshi Fujii, M.D., Toranomon Hospital
 Presenter: 靳應臺 Ying-Tai Jin, M.D., National Cheng Kung University Medical Center

09:20 - 09:35 Case 3
 (J02)
 Moderator: Toshiharu Matsumoto, M.D., Juntendo Univ.
 Discussant: 黃文彰 Wen-Chang Huang, M.D., National Taiwan University Hospital
 Presenter: Satoko Kashiwagi, M.D., Juntendo Univ.

09:35 - 09:50 Case 4
 (T02)
 Moderator: 郭承統 Tseng-tong Kuo M.D., Chang Gung Memorial Hospital - Linkou
 Discussant: Zenya Naito, M.D., Nippon Medical School.
 Presenter: 莊世松 Shih-Sung Chuang, M.D., Chi Mei Foundation Hospital



休憩時間、飲茶が振舞われた

10:35 - 11:50 Slide Conference (2)

09:50 - 10:05 Case 5
 (J03)
 Moderator: Robert Y. Osamura, M.D., Tokai Univ.
 Discussant: 李懌鑫 Yi-Hsin Lee, M.D., Chang-Gung Memorial Hospital - Linkou
 Presenter: Ryohei Kato, M.D., Yamanashi Univ.

10:35 - 10:50 Case 6
 (T03)
 Moderator: 王約翰 John Wang, M.D., Taichung Veterans General Hospital
 Discussant: Norimichi Nemoto, M.D., Nihon Univ.
 Presenter: 李芳儀 Fang-Yi Li, M.D., Taichung Veterans General Hospital

10:50 - 11:05 Case 7
 (J04)
 Moderator: Toshio Morohoshi, M.D., Showa Univ.
 Discussant: 陳東榮 Tong-Jong Chen, M.D., Shin Kong Wu Ho-Su Memorial Hospital
 Presenter: Takuma Tajiri, M.D., Showa Univ.

11:05 - 11:20 Case 8
 (T04)
 Moderator: 孫建峰 Chien-Feng Sun, M.D., Chang-Gung Memorial Hospital - Linkou
 Discussant: Osamu Matsubara, M.D., National Defense Medical Coll.
 Presenter: 吳仁欽 Ren-Chin Wu, M.D., Chang-Gung Memorial Hospital - Linkou

11:20 - 11:35 Case 9
 (J05)
 Moderator: Shinichiro Ushigome, M.D., IAP
 Discussant: 潘競成 Chin-Chen Pan, M.D., Taipei Veterans General Hospital
 Presenter: Tomoko Mitsushashi, M.D., Tohoku Univ.

11:35 - 11:50 Case 10
 (T05)
 Moderator: 邢福柳 Hock-Liew Eng, M.D., Chang-Gung Memorial Hospital - Kaohsiung
 Discussant: Takashi Nikaido, M.D., Jikei Univ.
 Presenter: 黃玄羸 Hsuan-Ying Huang, M.D., Chang-Gung Memorial Hospital - Kaohsiung
 台湾到着の当日の歓迎会風景



右端は台湾支部会長の Donald Ming-Tak Ho 先生





到着当日の夜は中華料理屋での歓迎会。薄味の台湾料理にみんなが喜んで歓談をしました。この会は台湾支部会長 Ming-Tak Ho 先生主催で、Secretary の Chih-Yi Hsu 先生がアレンジしてくれました。Hsu 先生は本当にこまめに我々を歓待して下さいました。Night market までも案内を。

カンファレンスの後はみんなで観光を



かの有名な飲茶の「鼎泰豊」(日本にも支店があるとか)で並んで待つ我々



学会当日夜は豪華ホテルで Dinner Reception



第46回 IAP 日本支部総会議事録

日時:平成 18 年 11 月 25 日(土曜日)12:10-12:45
 場所:和歌山県立医科大学講堂棟の講堂(シンポジウム開催と同じ講堂) 〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

第 3 回理事会議事録

日時:平成 18 年 11 月 23 日(木曜日)12:05-13:05
場所:ダイワロイネットホテル和歌山 3 階レストラン MIZUKI
出席者:諸星、長村、岩崎、中里、真鍋、佐野、清水、野
島、山辺、内藤、松原、佐々木
欠席者:中村、向井、根本、橋本、加藤、牛込

報告事項:

1. 庶務報告
2. 2006 年度病理学教育セミナー
3. Surgical Pathology Update 2006
4. XXVI International Congress of the IAP
5. 日台スライドカンファレンス
6. 会員名簿発行
7. Home page 立ち上げ

審議事項:

1. 新入会員の件(別紙参照)
2. 理事ならびに役員の変更の件

理事選挙の結果

2006 年度任期満了理事 2 名(岩崎 宏先生、中里洋一先生)の後任(2007-2009 年度理事)についての理事選挙では、平成 18 年度理事指名委員会にて、
・長谷川 匡(北大 1986 年卒)札幌医科大学附属病院病理部兼医学研究科分子・器官制御医学分子腫瘍医学腫瘍病理学教授
・加藤 良平(岩手医大 1978 年卒)山梨大学大学院医学工学総合研究部人体病理学講座兼山梨大学医学部附属病院病理部教授
・白石 泰三(三重大 1979 年卒)三重大学医学研究科腫瘍病態解明学講座教授
・吉野 正(岡山大 1981 年卒)岡山大学大学院医歯学総合病理・病態学教授
の 4 名の候補者が指名されました。

指名の理事候補者の得票は、投票者 209 / 573 人(投票総数 209x2=418 票)投票率 36.5%
4 人以外への投票数 3 票、1 人だけ投票が 8 票でした。結果は、白石先生と吉野先生が当選されました。

役員について(別紙参照)

3. 2006 年度決算および 2007 年度予算の件(別紙参照)
4. 病理学教育セミナー、SPU2007 など

病理学教育セミナー

シンポジウムはなに?
スライドセミナーは 2 コースが新しいものに

SPU2007

今回の SPU2007 は 6 月 22-24 日に Dr. S.G. Silverberg, Dr. Henry Appelman を迎え、婦人科と消化管の外科病理がテーマとなる予定です。

5. IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募論文について
受付番号 応募者名/年齢/所属/論文名/雑誌/発刊の巻、頁/推薦者
S06-1 加留部謙之輔/31/久留米大学医学部病理学教室 /A "floral" variant of nodal marginal zone lymphoma/Hum Pathol 36:202-206, 2005/大島孝一
S06-2 上原 剛/35/信州大学医学部附属病院臨床検査部 /Distinct clinicopathological entity "autoimmune pancreatitis-associated sclerosing cholangitis"/Pathol Int 55:405-411, 2005/勝沼 努
S06-3 大城 久/34/横浜市立大学医学部附属病院病理部 /Idiopathic retroperitoneal fibrosis associated with immunohematological abnormalities/Am J Med 118:782-786, 2005/青木一郎
岩崎委員長より慎重な選考の上、S06-1 加留部謙之

輔 1 人を IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の受賞者と決めた旨の報告があった。このことが了承された。

6. その他

7. 次回の理事会(平成 19 年度第 1 回)2007 年 2 月 09 日(金曜日)16:00-18:00 品川で

(平成 19 年度第 2 回)2007 年 3 月 13 日(火曜日)お昼

Upcoming Meetings _____

第 5 回東京泌尿生殖器病理組織講習会

2007 年 1 月 19-21 日、東京慈恵医大西新橋校、問い合わせ先:慈恵医大病理 中野雅貴 mnakano@ikei.ac.jp。主題は前立腺・膀胱・精巣腫瘍と非腫瘍性疾患。鏡顕、フリーディスカッション、CD-R 配布、飛込み consultation 受付。

USCAP 96th Annual Meeting in San Diego

March 24-30, 2007, www.uscap.org/
なお、San Diego での Japan Night は 3 月 26 日(月)か 27 日(火)か決めかねています。どちらにせよ 19:00 からと予定します。場所は未定で、homepage または現地での掲示板にお知らせをだそうと思います。ご都合がつけばご参加下さい。97th Annual Meeting は Atlanta から Denver に変わっています。日程は March 1-7, 2008 です。

5th Asia Pacific IAP Congress and Chapter of Pathologists Annual Scientific Meeting in Singapore

May 27-31, 2007, www.ams.edu.sg/iap2007.

第 10 回日韓合同スライドカンファレンス

2007 年 10 月 26-27 日(金・土)です。韓国側の San-Ho Cho 先生から Cheju 島でやりたいと連絡がありました。骨軟部、腎臓、肺病理にも声をかけようと考えています。美しい景観とお魚の美味しい所ですので、どうか予定しておいて下さい。

事務局よりお願いとお知らせ

- 1) 年度会費納入のお願い: 同封の郵便局での振り込み用紙で年会費 4,000 円ほどお振り込みください。
- 2) IAP 本部への年会費: 今年も 1 人当り US\$6.00x578 名分=US\$3,468.00 (JP ¥ 405,790) を本部に送金しました。長いこと US\$4.00 であったのが、2006 年から US\$6.00 へ値上がりしています。
- 3) 購入希望雑誌の申し込み: Laboratory Investigation が 21 名、Modern Pathology が 78 名の購入希望がありました。US\$85,00x99=US\$8,415.00 (JP ¥ 984,639) 払い込みました。
- 4) 2006 年度の教育シンポジウムとスライドセミナーのテーマについて: アンケートにご協力を。同封のアンケート用紙を送り返して下さい。
- 5) 新入会員の募集について: 周りにまだ会員となられていない方々の入会をお勧めします。スライドセミナーの受講生の半分以上は IAP の会員ではない現状です。会員申込書を事務局までご請求下さい。
- 6) 事務局が移動します。根本先生に常任幹事を引き継いでもらうので、よろしくお祈いします。新事務局は、〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部病理学 根本則道/家守玉美 03-3972-8111(内) 2256/Fax 03-3972-8163 E-mail: nemo@med.nihon-u.ac.jp です。
- 7) 松原/佐々木の事務局は 3 年x3 クール、9 年務めました。様々なご協力有難うございました。

あとがき: 2006 年度最後の第 4 号をお届けします。同時に (1) 2006 年度決算、(2) 2007 年度予算、(3) 2007 年度会費納入の振込用紙、(4) 教育シンポジウムと、(5) スライドセミナーのテーマのアンケート用紙、(6) スライドセミナーと SPU2006 の会計報告を同封します。

皆さんよいお正月をお迎え下さい。また、会員の皆様にとって輝ける素晴らしい 2007 年でありますよう。

常任幹事: 松原 修/事務局: 佐々木洋子
〒359-8513 所沢市並木 3-2 防衛医科大学校病態病理学
P: 04-2995-1507/ F: 04-2996-5193
E-mail: matubara@ndmc.ac.jp